



# 基本事業の成果状況と評価

## 基本事業01 防犯意識の向上

指標	防犯対策の平均実践項目数（全8項目）（個）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【自治振興課】	2.07	2.01	1.93	2.50	☂ (低下)
評価	（状況）防犯対策の平均実践項目数は、基準値(2.07個)と比較して、0.14個減少しました。					対前年度
	（要因）前年度と同様、犯罪率が低いことから、市民の防犯意識の低下を招いたことが考えられます。今後も防犯講習会や広報等で防犯対策の周知を図り、市民の防犯意識の向上に努めます。					☂ (低下)
						目標達成度 ■■ (低)

## 基本事業02 地域防犯体制の充実

指標	地域防犯組織数（団体）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【自治振興課】	127	126	130	133	☀ (向上)
評価	（状況）自主防犯パトロールグループの登録件数は、基準値(127団体)と比較して、3件増加しました。					対前年度
	（要因）成果が向上した理由として、ホームページなどで自主防犯パトロールグループの募集を行なっていることが考えられます。					☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

## 基本事業02 地域防犯体制の充実

指標	夜道を安心して歩けると思う市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【自治振興課】	58.8	79.9	82.3	62.0	☀ (向上)
評価	（状況）夜道を安心して歩けると思う市民の割合は、基準値(58.8%)と比較して、23.5ポイント向上しました。					対前年度
	（要因）防犯灯が市内全域に10,188灯設置されていることや、水銀灯を順次LEDタイプへ交換していることが挙げられます。今後も市民からの要望に基づき、防犯上必要と思われる箇所への適切な設置を進めるとともに、水銀灯についても順次LEDタイプへ交換することにより、満足度向上に努めます。					☀ (向上)
						目標達成度 👑 (達成)

## 基本事業02 地域防犯体制の充実

指標	管理不全な空家の解消割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対基準値
	【建築住宅課】	53.8	56.5	56.6	59.8	☀ (向上)
評価	（状況）管理不全な空家の解消割合は、基準値(53.8%)と比較して、2.8ポイント向上し、前年度と比較しても0.1ポイント向上しました。					対前年度
	（要因）管理不全な空き家所有者への継続的な改善通知の送付等の啓発活動の効果があらわれていることのほか、全国的に空き家が問題となり、メディア等で取り上げられる機会が増え、空き家所有者の意識が高まっていると考えられます。					☀ (向上)
						目標達成度 ■■ (中)

### 基本事業03 賢い消費者づくり

指標	消費トラブルを防ぐ方策を知っている市民の割合（％）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【やさしさ支援課】	89.4	91.8	90.7	92.0
評価	（状況）消費者トラブルを防ぐ方策を知っている市民の割合は、基準値(89.4%)と比較して、1.3ポイント向上しました。					対 前年度
	（要因）昨年度より実績値が1.1ポイント減少してしまったのは、コロナ禍で講座や講演会等の開催が出来なかったことが挙げられますが、ホームページやSNSを活用した情報発信や、消費者啓発パネル展の開催など、コロナ禍の中、密にならない方法で消費者トラブルや相談窓口の周知を継続しました。今後も、身近な相談窓口や消費者トラブルを防ぐ方策をより多くの市民に周知できるよう啓発事業に重点をおき向上を図ります。					☔️ (低下)
						目 標 達 成 度  ■ ■ ■ (中)

### 基本事業03 賢い消費者づくり

指標	消費生活相談件数（件）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【やさしさ支援課】	449	514	443	471
評価	（状況）消費生活相談件数は、基準値(449件)と比較して、6件減少し、割合で1.3%低下しています。					対 前年度
	（要因）前年度まで急増していたハガキによる架空請求が激減したことが、相談件数の減少の原因となっています。しかしながらSMS（ショートメール）による架空請求が引き続き増えていることや、高齢者をターゲットにした多様な手口の悪質商法や契約トラブルも増加しているため、今後も相談窓口の周知と消費者トラブルを未然に防ぐ啓発活動を重点的に実施します。					☔️ (低下)
						目 標 達 成 度  ■ ■ ■ (低)

### 基本事業04 登下校の安全確保

指標	登下校・校内での被害件数（犯罪に巻き込まれた件数）（件）	基準値 (H27)	実績値 (R01)	実績値 (R02)	目標値 (R03)	対 基準値
		【学校支援課】	0	0	0	0
評価	（状況）登下校・校内での被害件数は、前年度と同様に0件でした。					対 前年度
	（要因）各小中学校で児童生徒が犯罪被害にあわないよう、様々な機会を捉え防犯意識を醸成する指導を徹底するとともに不審者への対応をしていること、また登下校時には、スクールガード・リーダーや安全ボランティアの方による見守り活動を実施していることが挙げられます。					☀️ (向上)
						目 標 達 成 度  🏰 (達成)